

年 組 名前：

問1

日銀甲府支店が発表した11月の県金融経済概観で、県内の景気判断を、どのように説明しましたか。

.....

.....

.....

問2

記事中の図表から、好調と低調傾向の分野を2分野ずつ答えてください。

好調 →

.

低調 →

.

問3

水野支店長は、今後、何に注意していく必要があると話していますか。

.....

.....

.....

問4

あなたは、昨年の11月と比較して、今年の景気についてどのように感じていますか。

.....

.....

.....

11月景気「持ち直し」

日銀概観 旅行需要が回復

日銀甲府支店は21日、11月の県金融経済概観を発表し、県内景気の総括判断を感

染症抑制と経済活動の両立が進むことで、資源高の影響などを受けつつも、基調としては持ち直している」とし、10月からの据え置いた。据え置きの理由として、

の再開の動きが拡大した。全

国旅行支援や入国制限の緩和によりインバウンドを含む団体客も増加傾向で、衣料品や土産物、レストランなどの売り上げが増えた。

生産全体の動向判断は「基調としては増加しているが、

供給制約の影響がみられてい

る」として、7カ月連続で据え置いた。半導体製造装置といった生産用機械などを中心に生産が増加基調である一方、一部にスマホ関連や海外からの受注の減少がみられることを考慮した。好調や低調

を示す天気マーク(基調判断は1年11カ月連続で「薄曇り」)

電気機械の動向判断は、部品の調達難など供給制約の影響が和らいできていることから、1年9カ月ぶりに判断を引き上げ、電子部品・デバイス

水野裕央支店長は、先行きについては「供給制約の影響は和らぎつつあるが、判断を許さない。資源高や為替、海外経済の影響など不確実性が高く、下振れリスクについては十分に注意していく必要がある」と話した。(土屋真佑子)



は、一部でスマホ向けを中心に受注や生産の減少がみられているとして3年5カ月ぶりに判断を引き下げた。基調判断も3年2カ月ぶりに引き下げ、「晴れ」から「薄曇り」とした。

(2022年11月22日付 山梨日日新聞7面)